

異次元からの救済だから完璧なのです

仏説無量寿経に阿弥陀仏が四十八の願いを立てて成就したとあります。

第九、第十の願いを読みますと、「私(法蔵菩薩)が阿弥陀仏になれば、私の国の人は一瞬にして全ての仏国土に行くことができる」「阿弥陀仏の国の人、執着心や迷いをおこすことはない」と説かれています。

仏陀の救いは時空を超え、人々の思いに寄り添うことができます。

人間は置かれた状況で考え方が変わります。それは今の自分を否定したくない執着心から相手と対峙して対立が生まれます。

大阪都構想も韓国中国の謝罪要求も、対する日本外交もすべて、こうでなければならぬという執着心からの対立です。

阿弥陀仏が必ず救うと仰る時には、私の出来不出来や人間はこうあるべきだから、それが出来ない間は救済しないと仏陀は決めていません。必ず救うのですから、困っている人の思いに寄り添って救済して下さるのです。

ネパールで地震がおきました。救助活動のために世界各国からレスキュー隊が集結しました。瓦礫の中から人を救う時に、救助される人の生き方を調べ上げて救助の優先順位を決めていません。どんな人でも命は平等です。いのちに差をつけて生きているのが私達の迷い心です。合掌

写真は高野川の藤

